

令和5年度 学校評価報告書 (学校関係者評価) 都城市立祝吉中学校

1 保健・安全指導の充実

項目	自己評価	生徒評価	保護者評価	地域・学校運営協議会委員の評価	学校運営協議会委員からの意見等	令和5年度の実施及び改善策等
①健康管理 (保健指導・食育・立腰指導)	3.3 (3.3)	3.6 (3.5)	3.4 (3.3)	3.3 (3.4)	<p>【分析】 新型コロナウイルスが5類に移行されたが、インフルエンザの流行等により、引き続き、感染症予防対策を講じながら教育活動を行った。養護教諭による定期的な校内放送で、教室の換気やマスク着用の推奨、手洗い・うがいを励行している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会活動による主体的な活動の実施 ○ 地域人材・関係機関の活用の拡充 ○ 保健指導の充実(保健だより・養教とのTT等) ○ 主体的な委員会活動による啓発活動 ○ 感染対策の徹底と啓発の推進
②部活動指導	3.5 (3.5)	3.8 (3.7)	3.6 (3.6)	3.5 (3.5)	<p>部活動や体育大会における制限を緩和し、活動もコロナ禍前に回復してきている。しかし、体力の二極化は大きく、学年差も生じている。保健体育の授業等を通じて運動量を確保しながら、全校生徒の健康・体力面に力を注いでいく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市の方針に基づく部活動の適切な運営 ○ 部活動を通じた社会性の育成の一層の推進
③体力の向上 (柔軟性・全身持久力)	3.5 (3.6)	3.6 (3.5)	3.6 (3.4)	3.4 (3.4)	<p>交通安全では、校内放送等で随時、啓発しながら指導している。地域からの苦情にも迅速に対応し、命を守るための声掛けを継続していきたい。</p> <p>【意見等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストの結果を基にした保体の授業の充実 ○ 学校行事や部活動を通じた体力づくりの推進 ○ 基礎体力をつけるための自力登校の促進
④安全意識・防災意識の高揚 (交通安全指導・避難訓練)	3.4 (3.5)	3.6 (3.5)	3.4 (3.3)	3.3 (3.2)	<p>○学校の様子が分からないが、感染症防止対策については継続して行っていただき、食育についての学習をお願いしたい。</p> <p>○部活動の活躍が楽しみである。地域移行についての動きを保護者や地域にも発信して欲しい。</p> <p>○交通安全や自然災害等の指導を定期的に行い、命の大切さについて学習を深めさせて欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全に関する常時指導の徹底 ○ 状況に応じた防災訓練及び地域や関係機関と連携した訓練の実施 ○ 保護者・地域への理解・啓発

4段階評価 【 4 期待以上 (3) ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要す 】 () 内は前年度評価

2 心の教育の充実

項目	自己 評価	生徒 評価	保護者 評価	地域・学校運 営協議会委員 の評価	学校運営協議会委員からの意見等	令和5年度を取組及び改善策等
⑤いじめのない学校づくり（道徳の授業・生命尊重・感謝・思いやり）	3.5 (3.5)	3.7 (3.7)	3.4 (3.3)	3.3 (3.3)	【分析】 落ち着いた行動が年間を通じてとれていたが、今後も小さなトラブルにもアンテナをはり、大きく動いていく姿勢を続けたい。また、職員の人権意識の向上を図るために研修を行い、生徒へ共通した指導ができるように取り組みたい。 概ね正しい身だしなみで礼節をもって生活できている。あいさつの向上については、今後も呼び掛けていきたい。 三心清掃については、全学年でしっかりと取り組んでいる。清掃とともに心を磨く指導を祝吉中のよい伝統として続けたい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新学習指導要領に対応した道徳の授業の充実 ○ 主体的な生徒会活動による啓発活動 ○ 定期的なアンケートと教育相談の充実 ○ 生徒指導部会の定期的な情報共有の実施 ○ いじめ不登校対策委員会の充実 ○ 「命の大切さを考える日」の取組の充実 ○ 保護者への啓発活動
⑥身だしなみ・あいさつ	3.3 (3.3)	3.6 (3.6)	3.5 (3.4)	3.2 (3.3)	【意見等】 ○元気なあいさつができる子どもがほとんどである。子どもたちから元気をもらっている。校門通過の一礼は、見ていて気持ちが良い。 ○校則についての見直しや改善を、少しずつ検討して欲しい。 ○人権意識について生徒はもちろんのこと、先生方自身の意識の高揚を期待したい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的な服装・容儀検査及び指導の実施 ○ 主体的な生徒会活動による啓発活動 ○ 地域・保護者と連携したあいさつ運動の実施 ○ 保護者への啓発活動
⑦時間や校則を守る	3.4 (3.4)	3.6 (3.5)	3.5 (3.5)	3.3 (3.4)	○学校になかなか登校できていない生徒への声掛けや家庭との連携を密にして欲しい。地域としてもできることは協力したい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初及び随時の指導による周知の徹底 ○ 2分前入室・黙想・の徹底 ○ 主体的な生徒会活動による理解啓発活動 ○ 生徒会活動による校則等の見直し
⑧生徒会活動の充実	3.4 (3.4)	3.3 (3.2)	3.4 (3.3)	3.5 (3.4)		<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な活動の推奨 ○ 学年生徒会と連携した計画的なリーダーの育成 ○ 学級経営の充実
⑨三心清掃の取組	3.4 (3.3)	3.5 (3.3)	3.4 (3.2)	3.7 (3.4)		<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初及び随時の指導による意識付けの徹底 ○ 主体的な生徒会活動による活動の充実

4段階評価 【 4 期待以上 (3) ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要す 】 () 内は前年度評価

3 学力向上

項目	自己評価	生徒評価	保護者評価	地域・学校運営協議会委員の評価	学校運営協議会委員等からの意見等	令和5年度の取組及び改善策等
⑩分かり易い授業・基礎基本の定着・学力向上	3.4 (3.4)	3.4 (3.2)	3.2 (3.1)	3.2 (3.2)	【分析】 ICTを活用した授業も定着してきた。「主体的な学び」や「個に応じた学習」を目指し、学力の向上に努めたい。 「読書活動の推進」が昨年引き続き、低いポイントとなっている。読書を通じた学びに取り組む必要がある。分析をしっかりと行い、今後の課題として手立てが必要である。 家庭学習については、日々課題や週末課題の設定、キュビナの活用等、個に応じた教育の推進を図っていききたい。特別支援教育の充実を図るために、校内研修を繰り返し行っていききたい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種テストの分析と対策の充実 ○ 9か年を見通した小中一貫教育の推進 ○ 個に応じた指導の充実 ○ ICT機器の効果的な活用 ○ 校内研究及び教科部会の設定による教師相互の授業力向上の取組
⑪基本的な学習習慣の確立	3.5 (3.5)	3.5 (3.5)	3.6 (3.4)	3.2 (3.3)	【意見等】 ○ ICTを取り入れた授業が定着化してきており、生徒の手慣れた操作に感心した。職員も大変だろうが、ICTの知識を向上させていって欲しい。 ○家庭学習の取組の充実をお願いしたい。 ○日常的に読書に対する取組を家庭と連携しながら向上させていって欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒会活動による主体的な学習習慣形成の取組 ○ 小中一貫による指導の充実 ○ 保護者への啓発活動
⑫家庭学習の充実	3.0 (3.1)	3.1 (3.1)	3.1 (3.0)	3.0 (3.1)	【意見等】 ○ ICTを取り入れた授業が定着化してきており、生徒の手慣れた操作に感心した。職員も大変だろうが、ICTの知識を向上させていって欲しい。 ○家庭学習の取組の充実をお願いしたい。 ○日常的に読書に対する取組を家庭と連携しながら向上させていって欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宅習や課題等の適切な提示及び見届け ○ 小中一貫教育による取組 ○ 保護者への理解・啓発 ○ 生徒会活動による主体的な家庭学習の啓発 ○ ICT機器の効果的な活用
⑬読書活動の推進	3.0 (3.2)	2.3 (2.5)	2.8 (2.8)	3.1 (3.0)	【意見等】 ○ コロナ禍において学校訪問等がない中、授業の様子が分からない部分が多い。 ○特別支援への対応が十分とはいえない。専門的な知識の研修にも励んでいくことが必要。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 蔵書の充実 ○ 図書室運営の工夫及び生徒会活動による読書活動の推進 ○ 小中一貫教育による取組 ○ 家庭との連携（家読の推進）
⑭特別支援教育	3.2 (3.1)	3.6 (3.5)	3.2 (3.1)	3.2 (3.3)	【意見等】 ○ コロナ禍において学校訪問等がない中、授業の様子が分からない部分が多い。 ○特別支援への対応が十分とはいえない。専門的な知識の研修にも励んでいくことが必要。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員への理解啓発 ○ 職員間での情報の共有及び特別支援教育コーディネーターの相談・調整・支援の充実 ○ 関係機関との連携の強化及びスクールカウンセラーとの情報共有・連携の充実

4段階評価 【 4 期待以上 (3) ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要す 】 ()内は前年度評価

4 家庭・地域との連携

項目	自己評価	生徒評価	保護者評価	地域・学校運営協議会委員の評価	学校運営協議会委員からの意見等	令和5年度取組及び改善策等
⑮地域人材・素材の活用	3.3 (3.3)	3.5 (3.4)	3.3 (3.1)	2.9 (3.0)	【分析】 今年度から地域の催し等も徐々に復活し、ボランティア活動の機会も増えてきた。生徒の参加意識も高く、地域の方々からも昨年よりは高い評価をいただいている。学校でも、生徒はSDGsの取組として、登校時のゴミ拾い活動や古着の回収など、積極的な参加が見られた。	<ul style="list-style-type: none"> ○ with コロナにおける活動の工夫・改善 ○ まちづくり協議会を通じた地域コーディネーターとの連携の発掘（地域人材・素材の開発と活用） ○ 関係団体（社協等）との連携 ○ 企業との連携（職場体験学習・職業講話等） ○ P T Aの協力
⑯学校の広報活動（学級・学校だより・ホームページ等）	3.5 (3.7)	3.4 (3.4)	3.5 (3.3)	3.5 (3.2)	学校の広報活動として、引き続きホームページやシグフィーを活用していきたい。内容の充実も図りたいが、個人情報保護の観点からも注意しながら更新していきたい。 開かれた学校づくりとして行事の精選を図りながら、地域の方々も学校に足を運ぶことができる取組を考えていきたい。（オープンスクール等）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報発信に対する職員の意識向上 ○ 情報発信体制の強化・充実 ○ ホームページの内容やシグフィーの充実 ○ 学年・学級通信の充実
⑰開かれた学校づくり（オープンスクール・参観日）	3.4 (3.4)	3.6 (3.5)	3.4 (3.1)	3.2 (3.1)	【意見等】 ○地域のお祭りや運動会等に参加・協力いただき、ボランティア活動に熱心で感謝している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ後を見据えた活動の再開への準備 ○ オープンスクールの充実（地域への啓発） ○ 参観日や諸行事等における地域への案内 ○ 新入生説明会の充実 ○ P T Aとの連携した取組
⑱キャリア教育の推進（地域を知る学習）	3.2 (3.2)	3.5 (3.5)	3.2 (3.0)	3.2 (3.1)	○学校通信だけでは見えてこない活動があると思う。美点もいっぱい伝えていただくと学校に対する思いも変わってくると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3か年を見通したキャリア教育の推進及び9か年を見通した小中連携したキャリア教育 ○ キャリアパスポートを通じた小・高との連携 ○ 地域人材及び地域素材の更なる活用
⑲ボランティア活動	3.2 (2.9)	2.9 (2.6)	3.1 (2.8)	3.5 (3.0)	○地域と学校との交流が非常に少ないため、学校の情報等が不足している。学校評価に回答する私たちが学校で取り組んでいることをよく知らない。ホームページ等を効果的に活用して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ with コロナにおける活動の工夫・改善及び活動の再開を見据えた準備 ○ 生徒会を活用した生徒への積極的な啓発 ○ 校務分掌（キャリア教育推進部）の活動の充実 ○ まちづくり協議会等、地域の関係団体との連携

4段階評価 【 4 期待以上 (3) ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要す 】 () 内は前年度評価